

コンポスト通信

Vol.5 令和4年6月発行

発行元：山形市浄化センター

〒990-0886 山形市嶋南一丁目11番5号

TEL: 023(684)3272 FAX: 023(684)3601

「コンポスト」のこれまでのあゆみ

「山形コンポスト」は、山形市浄化センターで下水を処理した際に発生する「下水汚泥」を発酵させて作る肥料です。今回は、下水汚泥が土壌改善に働きかけるコンポストとして製品化することになったいきさつをお伝えしていきます。

下水処理の始まり

昭和40年（1965年）に浄化センターが終末処理場として供用開始した頃は、下水の処理は大きなゴミを取り払い、汚れと水を分離させて放流するという簡易的なものでした（上写真は昭和43年の浄化センターとその周辺）。

汚泥の処理が課題となってくる

昭和45年（1970年）、それまでの簡易処理から微生物を用いて汚れを分解する「活性汚泥法」を採用し運用を始めました。

活性汚泥法による浄化では汚泥が発生します。下水道が利用出来る区域が広がると下水の量も増え、次第に汚泥も増加していきました。この頃から廃棄物を減らすためにコンポスト有効利用について調査を始めました。

コンポストの製造開始から、今に至るまで



昭和55年（1980年）、「前明石ケーキ処理場（左写真）」が運転を開始し、下水汚泥が「コンポスト」として生まれ変わりました。その後に利用者の声を反映して、粒状に加工しました。風で飛ばされずに大きな農地で機械を使用しても撒きやすくなったと好評を頂けるようになりました。

それ以降は、安全で安定した品質のコンポストを届けられるよう、定期的な検査を行っています。現在は、年間およそ3,000トンの下水汚泥から1,200トンのコンポストを生産して、山形県を始め青森県や新潟県など県外にも出荷しています。

アンケートのご協力ありがとうございました

昨年度までコンポストモニターとしてご協力いただいた方々から、貴重な意見を頂きました。これらはコンポストのより効果的な使い方、それらをより多くの人に広めていくための参考にさせていただきます。

- ・花のもちが良いように思う。
- ・市販の肥料と組み合わせると、より効果的な場合もあった。
- ・生育が順調で、肥料切れによる成長阻害が少ない。
- ・土がふかふかになり、ミミズも増えたように思う。
- ・粒状で使いやすい。
- ・安心して使える。
- ・効力が緩慢であり持続性がある。



- ・効果は良好ですが、土がやや硬めになりがち。
- ・勧めたが、臭いが駄目だと言われた。
- ・与えすぎると出来が悪かった。



農園の風景

今年度から「コンポスト農園」として新たにスタートしました。皆さんが作業している所にお邪魔して、様々なお話を聞いて来ました。

☀️ 水遣りや草刈りなどまめに手を掛けているので、作物がそれに応えてよく育ってくれるのは嬉しいです。ただやはり自然の物なので、天候や環境によって出来上がりが全然違って来ると思います。同じ結果が出ないものですが、それもまた面白いと思います。最近では農家の方が配信している動画を見たりして、参考にしたりしながら育てています。そろそろ気温も高くなっているので、じゃがいもや夏野菜の収穫の頃合いを見ています。



☀️ トマトを吊下げて育てようとアーチ型の支柱を設置してみました。最近ですと手伝いに行っている農家さんから教えてもらう事もあるので、そのノウハウを自身の畑に活かして色々試しています。

☀️ 違う品種の茄子を植えてみたり、里芋の植え方を種芋からとポット苗からとで育て比べしてみたりしています（結果、どちらも同じように育ちそうです）。お隣さんとの交流も面白く、楽しく畑をやらせてもら



っています。



☀️ 畑をやるのはこれが初めてです。始めに畑を見た時は広いと感じていたのですが、あれもこれもと色々植えていくうちに気にならなくなりました。あっという間に肌が日に焼けてきて、今は作るのが楽しいです。

とれたて野菜で作ってみませんか

【材料】きゅうり…350g（4～5本） ★ビール…40cc

★三温糖（上白糖でも可）…40g ★塩…15g 好みで鷹の爪

【作り方】

- ①きゅうりを好みの大きさに切る。
- ②ジップ付のビニール袋に★ときゅうりを入れて軽くもむ。
- ③袋全体に★が行きわたるように時々向きを変える。
- ④半日から1日くらいして、きゅうりがしんなりしたら出来上がり。

※ビールは発泡酒でもノンアルコールでも良いです。※他の野菜でもおいしく漬かります。



きゅうりのビール漬

🥒 🍆 🍅 あとがき 🥒 🍆 🍅

山形も梅雨に入り、天候の影響を直に受ける農園ではマメに収穫に訪れる方をお見掛けします。雨天やその後は大変なので、空模様を伺いながら畑に行く頃合いを見計らっているそうです。自然のものは当然思うようにいかないですが、農園の方々はそれを楽しんでいるようにみえました。梅雨明け後には山形特有の重たく暑い夏がやってきます。外で作業する方は特に、水分補給に気を付けてお過ごし下さい。

👤 大橋